

油圧プレス機から、 鉄道車両移動機へ



“アント工業”とインターネットで検索すると、アント工業株式会社のオフィシャルなホームページに並んで、多くの「アント工業製 車両移動機」について触れるページが見つかる。それらは一般の“アント(車両移動機)ファン”が個人的に掲載した画像や動画、さらには調査内容だ。それを見れば、車両移動機が鉄道現場のどこでどのように活躍しているのか、よくわかるようまとめられている。その車両移動機を製造しているのは、群馬県高崎市の丸山機械製作所だ。車両移動機への注目が鉄道ブームを受けてのものなのか、アント工業の車両移動機そのものに魅力があるのかはわからない。しかし多くのファンがいるということは、丸山機械製作所が人々に愛されるものづくりをしていることに違いない。この事実は、製造者の思いが報われた結果でもあるだろう。

昭和25年、丸山機械製作所は油圧機器メーカーとして創業し、特に油圧プレス機の製造を得意としていた。それがお門

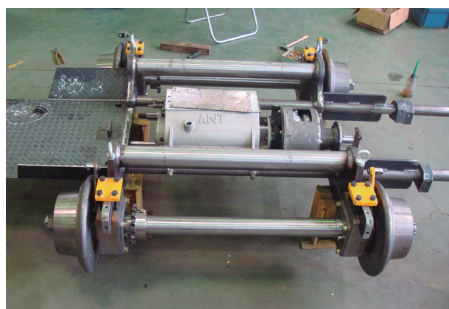
違いとも言える鉄道関係の製造に携わるようになったのは、当時の朝日トレーディング株式会社(現・アント工業株式会社)からの相談がきっかけだった。それは、当時の車両移動機に、新たに計画していた油圧機構をどう搭載したらよいかという内容だった。

現在の丸山機械製作所といえば「新聞販売店向け折込チラシ丁合機」製造のイメージが強いが、実はそれより8年も早い昭和40年から車両移動機の生産を始めている。以来、車両移動機と新聞販売店向け製品の機械加工、溶接、組立の一貫生産を製造部門の基軸とし(新聞販売店向け製品は設計・開発も含む)、メーカーとして長きに渡り存続してきた。その後は、鉄道車両移動機製造で培った技術を活かし、新たな事業を展開している。特に加工部門が得意としている「長尺」「大径」「厚物」といった三つのキーワードに類するものは50年にも及ぶアント工業との取引により熟成された技術で、世間的にも

特異な分野として受注増加に際立っている。しかもこれらの技術がマッチングするのは鉄道業界ばかりではなく、各種インフラ設備のほか環境機器にも使用されている。

これまで、一定の業界にのみ依存していたせいか、世間に誇れる高等な技術力を幅広く有しているわけではなかった。しかし近年、切削と溶接をからめた加工をワンストップで請け負える下請け工場としての実績も重ね上げつつある。一台一台が似て非なる個別仕様の車両移動機の製造に長く携わっていたため、一品物生産の効率性を考え、よりよい“ものづくり”をすすめていく思考能力に長けているからだ。

今は「新聞販売店向けや車両移動機のメーカー」と言われているが、数十年後は、特殊機械の製造者でありつづけると同時に金属加工業者として世間に認知されているかもしれない。



車軸・車輪の加工・溶接からフレームの製作まで。すべて社内で行っている。



●会社概要

株式会社 丸山機械製作所

エミダス会員番号 79074

主要三品目

- ・機械加工、マシニング加工、NC旋盤加工
- ・溶接、組立、産業用機械の設計・製造
- ・長尺、大物の旋盤加工と溶接の複合加工

■所在地：〒370-0071

群馬県高崎市小八木町304-2

■TEL：027-361-6631 FAX：027-362-4102

■代表者：佐藤 誠一

■担当者：谷口 秀和

■URL：<http://www.maruyamakikai.co.jp>

■従業員：32名

■創業：1950年